

# U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

## 【はじめに】

近畿事業推進部の川畑です。

緊急事態宣言下でオリンピックが始まりました。オリンピックだけの所為ではありませんが、ついに7月28日に東京の感染者が3,177人、大阪の感染者が798人、全国では過去最高の9,576人の感染者数となってしまいました。

新型コロナワクチン接種が行き渡っていない状況において、人流増加が感染の要因であることは間違いないです。医療もひっ迫しつつあります。

東京にいる娘家族が非常に心配です。なんとか感染が広がらないことを祈るばかりです。

オリンピックの選手たちも、このような状況で本当にシンドイと思います。

選手たちへの応援はしていますが、今回のオリンピック運営はずさんとしかいいようがありません。開会式などでは、ボランティア向けの弁当を大量廃棄されていた問題が発覚しました。組織委員会、いったいどうなっているのでしょうか。スタッフは一所懸命やっていると思いますが、トップ、幹部はいったいなにをやっているのでしょうか。

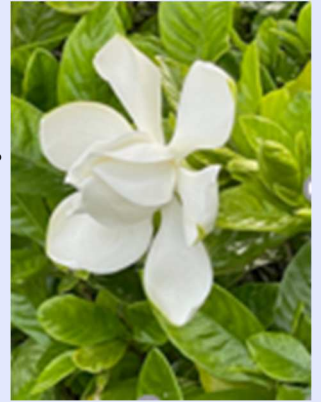
**SDGs** は国も組織委員会も取り組んできたのではないのでしょうか。

SDGs 17の目標のひとつである「**2. 飢餓をゼロ**」はいったいどこに忘れ去られたのでしょうか。足元では、新型コロナ禍で食事が満足にできない方も増えているという報道があります。

廃棄が予想されるなら、IOC幹部や組織委員会幹部の**過度の費用を削って**、冷蔵庫でも借りて対応するとか、ボランティア団体と連携して対策を講じるとかなにか手はあるのではないのでしょうか。対策を講じないIOC幹部や組織委員会幹部本当に困ったお偉いさん達です。

危機的状況ですが、新型コロナに負けないように、感染しない、させないように気をつけましょう。人流を抑えつつ、ワクチン接種を早く進めて欲しいです。

暗い話になりましたが、今月も「U協近畿通心」愉しんで頂けると幸いです。



近くの公園でくちなしの花が咲いています。たくさんのくちなしの花が毎年愉しませてくれます。ありがたいことです。

## 【8月、9月のオンライン研修はこれです。】

**あなたの周りの方にもぜひご紹介ください。今がスキルアップのチャンスです。**

5月から始めたオンライン研修。8月、9月のオンライン研修は以下とおりです。新型コロナ禍のこの時期に、アフターコロナに備えてスキルを磨いてください。

○Eメール書き方講座（初級編） 8月4日（水）

あなた、職場の方は、メールを使って円滑なコミュニケーションがとれていますでしょうか。Eメールの書き方の基礎が確認できます。基礎は大事です。

○電話対応トレーニング【電話対応コンクール編】追加 8月3日（火）～

今回は今年の電話対応コンクールの問題を使った25分の個人レッスンです。人気の講座です。

○オンライン営業プレゼンテーションアップ研修 9月9日（木）

コロナ禍で対面営業できずに困っているあなたへ！  
この機会にオンライン営業のプレゼンテーション力を高め、営業活動を増やしませんか！

○Eメール書き方講座（応用編） 9月28日（火）

Eメールのルールとマナーは、社会人として身につけるべき一般常識です！

※詳細は各支部ホームページにてご確認ください。

## 【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。岡部達昭先生編】

先月は「第82回 オンライン時代のインストラクション」(2020.11.18)をご紹介しました。いかがだったでしょうか。今回は「第83回 時間を守って話す」(2020.12.15)をご紹介します。

挨拶やスピーチ、講演やプレゼンテーションなどで、話者の話が長くて辟易することがありませんか？これで終わるかな、と思いますと、「ところで...」と言って、また延々と話し続けます。

最初から話の構成に無理があったか、話しているうちに調子が出て止まらなくなったのか、理由はともかくとして、持ち時間などお構いなしに話す人って結構多いのです。

今回は、この迷惑な長話を取り上げます。

### 足りない時間意識

「今日は時間がなくて、長い手紙になってしまいました。お許してください。」パスカルの定理で知られる17世紀のフランスの物理学者 ブレーズ・パスカルの有名な逸話です。

この言葉は、長いスピーチや挨拶、講演にもそのまま当てはまるでしょう。

私たちは皆、「時間」という一生の財産を、同じだけ持って生きています。

その**貴重な「財産」を、長話をする人は断りなく奪っている**のです。皆さんは、人前で話をする時には、話す内容、組み立て、話し方に、随分と気を使って準備をなさるでしょう。

しかし、時間厳守という意識、そのための努力をどこまでなさっていますか。

**意識を持ったとしても、その実行はかなり難しい**のです。

職業柄、結婚披露宴や各種会合の司会をする機会が数多くありました。まだ駆け出しの頃の話です。先輩記者から、彼の結婚式の司会を頼まれました。ところが、冒頭の新郎新婦紹介で、高齢のご媒酌人が、なんと52分話されたのです。

若輩司会者は焦るばかりでなすすべもなく、そのあとの進行にまで尾を引いて、披露宴は結局、1時間25分オーバーしてお開きとなりました。忘れられない苦い思い出です。

### 「秒」を守って

長年携わってきたアナウンサーという仕事は、否応なく精緻な時間感覚を求められました。本番中にディレクターから「1分半延ばして！」とか「25秒巻いて！」といった指示が容赦なく飛んできます。それにきちんと対応しなければなりません。完全にパッケージされた放送のプログラムは、1秒押すことも許されないのです。経験を積んでいるうちに、「秒」という時間の大切さを身に染みて知るようになりました。その割には、大きな時間を無駄にしている己の未熟さに、忸怩たる思いをしております。

厳しく時間を守る仕事はほかにもあります。航空運輸関係の仕事、救急医療や消防、秒どころかさらに細かい時間管理を求められる製造現場や研究部門、100分の1秒単位まで競うアスリートの世界もあります。そう考えると、私も話し言葉の世界の時間感覚、さらに言えば、日常生活における私たちの時間意識は、あまりにもルーズに思えてきます。

### 逆算してラップタイムを決める

話を話し言葉に戻します。文字文化で育ってきた私たち日本人のほとんどは、話をする時には先ず原稿を書きます。その原稿を読んで時間を測り、決められた時間内に収まるかどうかを確認します。その上で本番に臨むのですが、丸暗記の棒読みでもしない限りは、これでは絶対に話はこぼれます。話す時には、原稿にはないさまざまな「間」や無駄な言葉が入るからです。**その「間」や「無駄」が生き生きとした話し方を生む**のです。**原稿での事前の計測は、7掛けぐらいのゆとりを持たせることがポイント**です。もし時間が余ったら、大事な主張を繰り返せばよいのです。

できれば原稿は捨てて、**項目のメモで話せばベスト**です。

台本やスクリプトがある場合には、時間オーバーを避けるために、私がかねて実行してきた方法があります。**逆算してラップタイムを決める**のです。例えば5分のスピーチをするのに、最後のまとめで言いたいことが30秒かかるとします。この30秒を確実にキープして、尻切れトンボにならないようにします。そのために、4分30秒のところに赤で斜線を引きます。以下同じように、4分、3分30秒、3分に斜線を引きます。5分の持ち時間の半分強を過ぎたところにあるこの4つの関門で、話の進捗状況を判断します。もし押していたら、予め決めておいた、省いてよい箇所をカットすればよいのです。

**イエス・キリスト**が大衆に語りかけた**説得術、布教術**は、**すべて2分半程度の短いもの**だったそうです。その**要諦は①話を絞る②シンプルに③繰り返す④誠実に**、の4点だとブルース・バートンがその著『イエスの広告術』に書いています。

## 【ユーザ協会の得意技！ こんなICTの紹介をしています。へ～え そうなんだ。】

スマホが日本で発売されてから10年以上経ちました。今では、一人複数台のスマホを使うのも珍しくなく、老若男女にとって、なくてはならないツールとなりました。同時に、スマホは社会の光景を急激に、そして大きく変えてきました。その事例を挙げると枚挙にいとまがないのですが、今回は身近な事例を二つ取り上げてみたいと思います。

### 変わる電車の中の光景

電車に乗って移動する時、電車内では何をしますか？

電車内を見渡した時、乗客のほぼ全員がスマホを操作している、という光景はすっかり日常の光景となりました。それを見た人によっては、“少し異様な光景”といったように表現されますが、本当にそうでしょうか。

かつて、電車の中では、寝る人を除けば、新聞を読む人、本を読む人、イヤホンを使ってラジオを聴く人、参考書を読んで勉強する人、音楽を聴く人、ゲームをする人、話をする人.....それぞれに見た目でやっていることが分かりました。

しかし今は、新聞・ニュースも、本も、ラジオも、参考書や問題集も、音楽も、そして友達との会話も、すべてスマホに入っているアプリを使って、スマホを通じて行われているのです。傍から見ると、「スマホを操作している」かもしれませんが、やっていることは皆違うのです。このことへの理解が進んでないために“少し異様な光景”となるのかもしれません。

このうち、「話をする人」は、携帯電話が普及した時、電車内での通話が迷惑行為として社会問題化し、「電車内での携帯電話の通話はお控えください」とアナウンスされるようになりました。その後、“着メロ”も、迷惑とを感じる人が増え、マナーモードの普及によって使われることも少なくなりました。そして、メールやチャットが普及し、今では、電車内で通話したり、音を発したりする人もほとんどいなくなりました。人々の意識が変わり、さらに、機能やアプリといった技術力で代替手段が整い、電車内でのスマホの音に関するマナーは一気に向上しました。“人の意識”と“技術”の両方で、社会課題が解決できたうちの一つかもしれません。

### 変わる学びの光景

小中高生がスマホやタブレットを見ていたとしたら、「遊んでばかりいないで勉強すればいいのに」と感じる人は少なくないのではないのでしょうか。確かに、スマホのゲームも、友人とのLINEでの会話もSNSへの投稿も楽しいし、そればかりになってしまいがちです。しかし、その一方で今、学びの現場では、スマホの利用がどんどん加速しています。

2020年、新型コロナウイルスの影響で学校が休校となり、オンライン授業が広まりました。さらに、文部科学省が進めているGIGAスクール構想（小中学校の児童・生徒のために一人一台のコンピューターと高速ネットワーク環境を整備して、教育ICTを進めるプロジェクト）が前倒しとなり、2021年度春から本格的に学校教育現場でインターネットが活用されるようになっていきます。

これまでは、子どもたちに「インターネットは危険だ」「スマホはできるだけ使わないほうがいい」と規制・制限を多くかけていました。そして、授業では先生主導で使うことはあっても、児童・生徒は部分的にしか使えず、子どもたちからインターネットをできるだけ遠ざけようとしていました。ところが今、**学校でしっかり情報リテラシー、情報モラルを身につけた上で、子どもたちが自ら学ぶ時に積極的に、かつ自由に「スマホやタブレットが使えるようになろう！」**に変わろうとしています。

机に向かいながらスマホを操作している子どもを見ても、頭ごなしに「遊んでいないで、勉強しなさい！」なんて言わないように、一緒になって新しい学びのスタイルを身につけてみてはいかがでしょうか。



## 【お役立ち情報：こんながあります仕事の効率化ツール】

今年からオンライン研修を始めています。そのひとつに電話対応トレーニング【電話対応コンクール編】があります。このトレーニングの予約にヘイ株式会社の「STORES予約」を使っています。今回はこの「STORES予約」をご紹介します。

予約システムは、クラウドベースで世の中にたくさんありますので、選定に困ってしまいますね。そこで、細かいことはありますが、まずシステム選定にあたって考えたのが次の5点です。

- ①操作が簡単であること → だれでも使えるというのが絶対ですね。
- ②時間帯別に予約設定・利用が簡単にできること
- ③決済手段（クレジット等）があり、請求業務を簡素化できること
- ④Zoom連携が自動で設定できること
- ⑤安価であること

この5点をもとにいろいろ調べてたどり着いたのが、「STORES予約」です。こんなことが簡単にできます。



こんな画面です。詳しくはこちらをクリックしてください。レビューも頂けます。

[\(電話対応トレーニング【電コン編】\) A | Cubic](#)

[\(公財\)日本電信電話ユーザ協会 近畿事業推進部のレビュー | Cubic](#)

今後、もしも検定実技編も開講していきますので、どうぞご利用ください。

## 【お役立ち情報：わからない時はこんな無料相談もあります。】



ICTお仕事悩み  
相談デスク

ICTってどう進めればいいのかわからない。  
わかる人もいないし、時間もないしな。

そんな時は無料相談してみてください。

お電話からのお問い合わせ

相談無料

0120-045-783

電話受付時間:10:00~17:00

## 【お役立ち情報：子供たちに地球を残すSDGsってご存じですか。】

会員様からご縁を頂き、一般社団法人国際SDGs推進協会の理事長さんとお話しする機会がありました。当協会とSDGsってなにが連携できるのかいま検討しています。

そんな中、SDGsアドバイザー講座を受講しました。今日はその中から少しSDGsについてご紹介します。SDGsについては、いま関心が高まっています。西日本ICTセミナーで10月のテーマとして企画中です。決定したら支部ホームページでご案内します。

**SDGs（エス・ディー・ジーズ）**は、2015年9月、国連サミットで採択された成果文章「**我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ**（通称：2030アジェンダ）」の柱として、**世界共通の17のゴール（目標）、目標ごとの169のターゲット**から構成されています。国連に加盟している**193の国・地域**が**2030年を期限に達成を目指す**ものです。

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。発音は、SDGs（エス・ディー・ジーズ）です。

持続可能な開発目標（SDGs）、通称「**グローバル・ゴールズ**」は、**貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにする**ことを目指す普遍的な行動を呼びかけています。

**SDGsの理念は「誰ひとり取り残さない（No one will be left behind）」**

この理念が示すように、SDGsは世界すべての人に共通する「**普遍性**」が特徴です。

**貧困の解決・飢餓の解決・教育**などの社会目標、**気候変動・エネルギー・生物多様性**など環境目標、**雇用・インフラ・生産と消費**など経済目標に加え、**不平等の解決・ジェンダーの平等・平和**などが17の目標として体系的に整理されました。

SDGsの革新性は、17の目標それぞれにカラフルなメッセージアイコンを作成し、誰もが使えるツールとして公開したことにあります。

SDGs 5つの基本があります。

**(1) 普遍性 (2) 包摂性 (3) 参画型 (4) 統合性 (5) 透明性と説明責任**

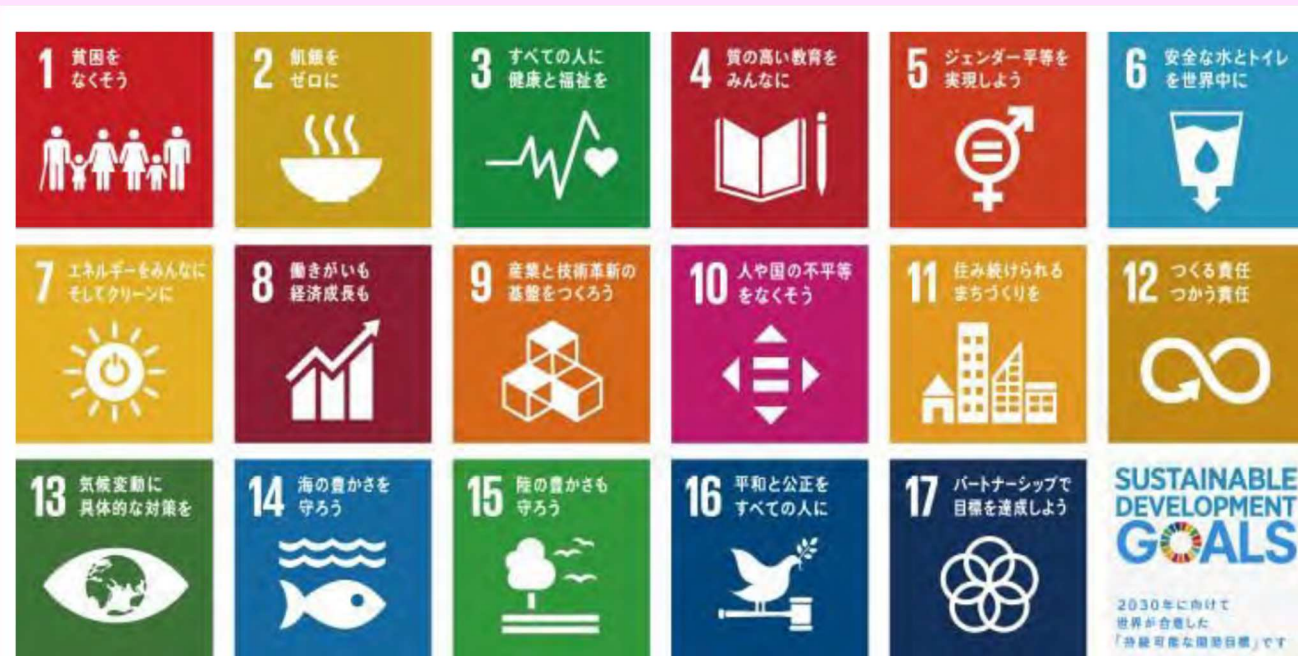
「**普遍性**」他にも応用が効くという先進国を含め、全ての国が行動する

「**包摂性**」社会のすべての人に配慮を払う、「誰一人取り残さない」

「**参画型**」関係者を結集し多様な場所での活用や幅広い業界での導入、活躍という意味で全てのステークホルダー（政府、企業、NGO、有識者等）が参加

「**統合性**」経済・社会・環境の3要素を含める 経済・社会・環境は不可分であり、統合的に取り組む

「**透明性と説明責任**」さらに製品・サービスを広く伝える努力をしている



子供たちに地球を残す

## 【ユーザ協会の得意技！ こんなICTセミナーやっています。】

<大前さんに学ぼうを8月に実施します。好評受付中>

大前さんに学ぼうは、2017年に経営研鑽会として立ち上げて今回で6回目になります。

毎回、旬なテーマを経営者のみなさんにお届けして、大変ご好評をいただいています。

いま東京のオフィス空室率が5%を超えてきました。空席率が10%を超えてくると賃貸料の下落が始まります。そう、あのバブル崩壊後経験したことがまた起こりそうです。

そうなったら、御社はどうしますか。その時に備えておく必要がありますね。

今回は、不動産価値・新しい事業機会について考え、企業はどう備えたらいいのかを考えてもらいます。

**ぜひ、ご参加ください。お知り合いの経営者にもご紹介ください。**

### ICTセミナー8/31 ～アフターコロナの課題を理解してDXを推進しよう！！～

**あなたの会社、アフターコロナの備えは大丈夫ですか？**

新型コロナウイルスの感染拡大を受け「新しい生活様式」への移行が進む中、不動産に対する人々の価値観や、行動様式に大きな変化が起きています。

**コロナ後の不動産価値・新しい事業機会について考え、企業はどう備えたらいいのでしょうか。そのヒントは、このセミナーにあります。**

開催日時 **2021年8月31日（火） 13:00～17:00（12:50接続可能）**

参加方法 開催3日前にアクセスURLをメールにてお送りいたします。

※商工会議所等からのご紹介の方は、ユーザ協会への伝言記入欄に  
商工会議所等名を必ずご記入ください。

申込先 [https://www.pi.jtua.or.jp/online\\_seminar3/](https://www.pi.jtua.or.jp/online_seminar3/)

参加費 **無 料**

お申込みはこちらをクリック  
してください。

主 催 (公財)日本電信電話ユーザ協会 近畿事業推進部 (6支部合同)

共 催 大阪商工会議所、西日本電信電話株式会社

開催内容 (13:00開演 17:00終了)

第1部 13:10～ あのマッキンゼーの世界的名コンサルタント大前さんに  
「コロナ後の不動産価値と経済・企業経営へのインパクト」を学ぼう

<講師：大前研一氏（ビデオ）、丹羽亮介氏（株）マインドシーズ代表>

第2部 15:20～ DX時代を生きる社会人の教養「デジタル人材」を育成して、  
デジタル組織を創る

<講師：岡田 一志氏（SCSK株式会社 新ビジネス推進部）>

第3部 16:20～ ICT活用による生産性向上－働き方改革促進に向けて－

<講師： 榛葉 久美子氏（NTT西日本ビジネスフロント株式会社 大阪支店長）>



(株)ビジネス・ブレイクスルー  
代表取締役会長  
大前 研一氏



<原稿大募集中！ご紹介します。>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。  
いつでも待ってま～す。写真も大歓迎です。

送り先：[f.kawabata@jtua.or.jp](mailto:f.kawabata@jtua.or.jp)（川畑）までファイル（A4）を送って下さい。